

第2回 脳血管医療センター名称部会議事録	
日 時	平成26年4月22日(火) 17時00分～18時30分
開催場所	崎陽軒本店 6階 2号室
出席者	〔委員〕 藤井清孝部会長、篠原弘子委員、林貞三委員、吉井宏委員 〔病院経営局〕 新井勉計画推進担当部長、他 〔脳血管医療センター〕 加藤利彦脳血管医療センター管理部長、他
欠席者	〔委員〕 古谷正博委員
開催形態	公開（傍聴者3人）
議 事	(1) 脳血管医療センターの病院名称について (2) その他
決定事項	なし
議 事	<p><b>開 会</b></p> <p>○原田課長</p> <p>定刻になりましたので、これより第2回横浜市立脳血管医療センター名称部会を開催させていただきます。</p> <p>本部会につきましては、前回同様、横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条に基づきまして、公開とさせていただきます。</p> <p>なお、傍聴の方につきましては、会場内の指定された場所に着席し、静粛に傍聴していただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>また、会議録については、原則として公開することとなっております。個々の発言者名及び発言内容を記載することとさせていただきます。会議録につきましては、事務局で調整したものを各委員の皆様にご確認いただいた上で確定し、1カ月以内に公開する運びとなっておりますので、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>なお、本日、古谷委員につきましては、所用のため欠席されるとのご連絡をちょうだいしておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。部会長、よろしくようお願い申し上げます。</p> <p><b>議 事</b></p> <p>(1) 脳血管医療センターの病院名称について</p> <p>○藤井部会長</p> <p>部会長の藤井でございます。それでは早速、議事に入りたいと思います。本日の議事は、(1)「脳血管医療センターの病院名称について」です。まず、事務局より資料の説明をお願いいたします。</p> <p>○谷口センター総務課長</p> <p>脳血管医療センター総務課長の谷口でございます。資料のご説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料1をご覧ください。1「アンケートの実施(案)」でございますが、表にありますとおり、4種類のアンケートを行いたいという案でございます。まず、上の「ヨコハマeアンケート」ですが、登録された市民の方に、4月現在で2100名余りの方になっておりますが、5月1日から2週間、インターネットでアンケート</p>

を行うものでございます。次に「院内設置アンケート」ですが、当センター利用者を対象に5月1日から、こちらは3週間を考慮しております。次の「職員アンケート」ですが、前回の部会でのご意見により加えさせていただきました。こちら5月1日から3週間実施する予定です。最後の「ホームページ上のアンケート」ですが、広く当院のホームページでアンケートを行うもので、こちらも5月1日から3週間を予定しております。具体的なアンケートの内容ですが、資料2-1以降にお示ししておりますので、後ほどご説明いたします。

おめくりいただきまして、裏面の3「有識者への意見聴取」でございますが、5月末までにインタビュー形式の意見聴取を行いたいと思っております。内容につきましては、前回ご了承いただきましたとおり、こちらの3点について意見聴取を行います。(4)「意見聴取する有識者(案)」についてですが、前回、当センターの診療領域3分野に病院経営の有識者を加えるようにのご意見をいただきました。そこで、診療領域3分野からおのおの2名、病院経営から1名、合計7名を候補としてお示ししています。脳卒中の分野からは小林島根大学学長と山口国立循環器病研究センター名誉総長、神経疾患の分野からは鈴木慶應義塾大学教授と祖父江名古屋大学教授、脊椎脊髄疾患の分野からは齋藤横浜市立大学医学部長と根尾大阪医科大学教授、病院経営の分野からは河原東京医科歯科大学教授でございます。

資料2-1をご覧ください。ここからアンケートの具体的な内容についてお示ししています。資料2-1が、ヨコハマeアンケート及びホームページ上のアンケートの案でございます。冒頭に「趣旨・目的」を簡潔に説明した後、Q1及びQ2で回答者の当院に関する認知度をお尋ねいたします。Q3から具体的な名称に関する設問となりまして、まずQ3に名称に入れる要素として、専門とする部位、地名、イメージについて複数選択可で回答をお願いしたいと考えております。その上で、部位を選択された方にはQ4で具体的な部位名を複数選択可で選んでいただきたいと。選択肢にない場合は自由記載でご提案いただけるようにしてございます。地名を選んだ方にはQ5で具体的な地名を、イメージを選択された方にはQ6で具体的な名称を選択していただくという形にしてございます。

裏面に参りまして、Q7ですが、専門の部位、地名、イメージの3つのカテゴリー以外のもので名称に入れたらいいというものがありましたら、自由記載で記入していただくという設問になっています。Q8は、病院の名称の末尾を「病院」とするか「医療センター」とするかという設問でございまして、前回のご意見を踏まえまして、国立がんセンター等と同様に単に「センター」をつけるという選択肢や、あるいは「センター病院」という選択肢も一応加えてございます。Q9は、具体的に病院名を思い描いていらっしゃる方につきましては名称

をダイレクトにご提案いただけるという設問でございます。

資料2-2でございますが、こちらは院内設置用のアンケート案でございます。冒頭、質問1のところで回答者の属性をお聞きしております。患者さん、ご家族の方につきましては診療領域をお尋ねしております。質問2以降につきましては、先ほどの資料2-1のQ3以降と全く同じ内容となっております。

次が資料2-3でございますが、こちらが職員向けのアンケート案でございます。質問1で雇用形態と所属をお聞きしております。質問2以降は同じ内容となっております。

資料3は「横浜市立施設の名称例」をお示ししております。前回の議論の中で、市立病院の場合は「横浜市立」をつけるといったような決まりとか慣例があるのかといったご質問をいただきましたので、お調べいたしました。1が「横浜市立」がついている施設でして、市立病院や小中学校、動物園がございます。2が「横浜市」とついている施設でございます。この中で救急医療センター、総合保健医療センター、スポーツ医科学センターは医療施設である診療所が含まれている施設でございます。その他、ケアプラザ、地区センター、保育園、図書館、公会堂などが「横浜市」が入る施設でございます。3は「横浜市立」と「横浜（よこはま）」が重複して入っている施設で、動物園や高等学校などにそういった例がございます。4は逆に「横浜市」が入っていない例ということで、公園につきましては主に町名をつけてございます。これらの名称のつけ方には法令の規定があるわけではありませんが、ご覧のとおり一定の傾向がありますので、その意味では慣例と言えるのかもしれませんが、それにしがいがいますと、市立病院では「横浜市立」がつくという形になるかと思えます。

資料4は当部会の今後のスケジュール案でございます。本日、案がご了承いただけましたら、5月からアンケートと意見聴取を行いまして、6月以降にこの部会で具体的な名称案を選定していただき、7月ごろに開催を予定されている経営評価委員会で答申をいただければ、1月から新名称を使用できるものと考えております。

参考資料でございますが、疾患別の患者数に関する資料でございます。前回の部会後に委員の先生から、脳卒中、脊椎脊髄疾患、パーキンソン病などの市における症例数について資料をとということでご要望いただきました。残念ながら横浜市のほうでこれらの疾患の症例数について個別に調査を行ったデータはございませんので、ご参考までにとということで、厚生労働省の平成23年度の「患者調査」のデータをお示ししています。表の左側が厚生労働省の「患者調査」からのデータで、右側は当センターにおける過去3カ年の実績数値をお示ししております。上のほうですが、欄外の注1をご覧くださいますと、「患者調査」では調査対象の9月の1カ月間の退

	<p>院患者数のデータということになります。それをもとに厚生労働省のほうで1カ月間の患者数を推計しているということです。そこで表のほうには、私どもでこの1カ月間のデータを年間換算して表示してございます。ただ、調査の対象月が9月の1カ月間ですので、季節変動がある疾患などにつきましては、実際の年間の患者数とのずれがどうしても生じてしまいます。網かけをしているところをご要望いただいた疾患でございまして、VI「神経系の疾患」では、市内で9700人、当センターは平成23年度が337人ということで3.5%程度となっております。IX「循環器系の疾患」のうち、再掲で出させていただいています「脳血管疾患」は、平成23年度で、市内で1万4600人、当センターは965人で6.6%となっております。それからXIII「筋骨格系及び結合組織の疾患」のうち、「脊柱障害」につきましては、「患者調査」では市内に約7300人、当院は34人ということで0.5%でございますが、平成24年度から脊椎外科が加わりまして152人、平成25年度は303人と大幅に増加している状況でございます。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>○藤井部会長 資料の説明が終わりましたので、これから順次、議事を進めたいと思います。</p> <p>まず、アンケートの実施について、資料1、市民、それから利用者からの意見聴取をご覧ください。資料1のアンケートの実施では、前回の部会で職員アンケートを追加するような意見がございましたので、3番目に「職員アンケート」を追加しております。また、アンケート期間が具体的に示されております。まず、これらについてご意見を委員の皆様からお伺いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。前回、たしか篠原委員が職員アンケートも必要とおっしゃったと思うのですが、これをご覧ください。まだ不足しているとか、何かございませうでしょうか。</p> <p>○篠原委員 いえ、特にございません。職員に直接配付ですけど、入れるときは投函箱か何かを置かれるのですか。</p> <p>○加藤センター管理部長 今まで職員満足度調査などを院内で行って、個別に配付した上で、箱を各部門に置きまして、だれが入れたかわからないような形での投函という形でやっていたかと思っております。</p> <p>○篠原委員 ありがとうございます。</p> <p>○藤井部会長 林委員は何かご意見はございますか。</p> <p>○林委員 有識者の聴取ということでございますが、みんな偉い方々で申しわけないのですが、こういう方々を選んだ基準というか、この人ならどうだろうというような何か考え方がございましたらお願いします。</p> <p>○加藤センター管理部長 藤井部会長ともご相談する中で、この有識者の方々は日本全国で見ても、5本の指に入ると言ったら失礼になるのかもしれないですけど、一流の方を選定させていただいたということです。</p> <p>○藤井部会長 よろしいですか。</p>
--	---

	<p>○林委員 ○藤井部会長 ○吉井委員</p>	<p>はい。 また後で少し討論いたしましょう。どうぞ。 市民の方々と職員の方々のアンケートは重要ですし、この内容で十分だと思います。問題はその結果がどういうふうに出てくるか、それを集計しての結果だと思います。アンケートは大いに結構だと思います。よろしくお願いします。</p>
	<p>○藤井部会長</p>	<p>それでは、この「アンケートの実施（案）」につきましてはこれで進めてよろしゅうございますか。それでは、そのようにさせていただきます。 続いて、2「アンケート（案）」です。同じ資料1の下の方です。資料2-1がeアンケートとホームページ用、資料2-2が利用者向け院内設置アンケート、資料2-3が職員向けとなっています。先ほど説明していただいたように、アンケートの冒頭の部分は対象者によって異なりますが、名称に関する質問項目はすべて同様ということです。 資料2-1のQ8をご覧ください。名称の末尾を「病院」とするか「医療センター」とするかということで、前回、単に「センター」とすることや「センター病院」とすることもあり得るというご意見をいただきましたので、そのような選択肢といたしております。それから、いろいろなご意見がおありと思いますので、各項目に「その他」という自由記載欄が追加されております。 このような少し変更されたアンケート案ですが、これらについてご意見をお伺いしたいと思います。内容につきましては、Q1、2が認知度ということで、Q3以降に具体的なことが質問としてあるわけですが、いろいろと部位とか地名とかイメージとかもあります。今の病院の名前のままでもいいというお考えもあった場合には「その他」のところで書くわけでしょうか。</p>
	<p>○加藤センター管理部長</p>	<p>「脳血管医療センター」という名前の場合でしたら、Q4で「脳血管」を選んでいただいて、Q8で「医療センター」を選んでいただければ、現在の名称にはなると思います。当然、自由記載欄に、なぜ「脳血管医療センター」のままがいいのかという理由を書いていただいても構いませんし、それも含めてきちんと集計はさせていただきます。</p>
	<p>○藤井部会長 ○篠原委員</p>	<p>各委員の先生方、いかがですか。どうぞ。 2点ご質問させていただきたいのですが、まず資料2-1のeアンケートのほうで、Q3で「どのような病院名称がいいと思いますか」の複数選択で、例えばア、イ、ウ、エを全部選んだとすると、Q4もA5もQ6もすべて選んでいくようになりますか。</p>
	<p>○加藤センター管理部長</p>	<p>はい。この形式だとそういうふうになって、非常に長い病院名称になると思いますが、それも1つの意見だと思います。可能にはしてありますので、そういう意見があったということをご報告させていただきます。</p>
	<p>○篠原委員 ○加藤センター管理部長</p>	<p>意見としてはありということですね。 はい。</p>

	<p>○篠原委員                   もう一点伺いたいのは、資料2-2の院内設置用のほうなのですが、属性のところ、「どの項目に当てはまりますか」のところなのですけれども、3)「医療・介護関係者」という項目があるのはどういう方を想定しているのでしょうか。</p>
	<p>○加藤センター管理部長   脳血管医療センター併設施設として介護老人保健施設コスモスというのを80人定員で持っておりますので、その業者とか関係者、もしくは介護タクシーの人とか医療用の人たちとか、いろいろな方が来る可能性があるかと思いましたが、そういう方からも意見をいただいて、外来でアンケートをいただけるのでしたらいいのかなと思ひまして、「医療・介護関係者」というのを1行入れておいたのです。</p>
	<p>○篠原委員                   院内設置のときにどんな人が入れるかなとちょっとイメージしたときには、まず1)にも2)にも該当しない場合は、面会の方がいらっしゃるかなと思ったのです。そうすると面会の方は「その他」になるのかなとか、それから「医療・介護関係者」というといきなり職業を聞いているみたいなので、例えば「来院者」にして、その中に医療や介護関係の人がいるか、それとも医療や介護関係ではなく何か用事があって来院する方もいるかもしれませんので、「来院者」にしておけばいいのか。それから面会の方は結構数としてはいらっしゃりそうなので、またちゃんと1項目出しておいてもいいのではないかというイメージが私はするのです。</p>
	<p>○加藤センター管理部長   そういう方のデータをとったほうがいいというのでしたら、この場で決めていただければと。例えば「医療・介護関係者」ということでとる必要はないといえば「その他」のところに行くわけですから、逆に言えば「面会者」を入れることも可能だと思いますので、決めていただければそのような形に直したいと思います。</p>
	<p>○篠原委員                   私のイメージとしては、面会者は「面会者」、それでその他、病院にいろいろな仕事やら個人的なご用やらで来院される方については「来院者」で、その中にもし医療や介護関係の方がいらしたら丸をつけてもらうとか、そういう分けのほうを選びやすいなという感じがするのですが、いかがでしょうか。</p>
	<p>○藤井部会長               このところですね。面会者あるいは来院者の中でもいろいろな職種の方がいらっしゃるといふ。これはどうしましょうか。1つ、2つつけ加えますか。では、5番目に「面会者」と、6番目に「来院者」を別個ですね。</p>
	<p>○篠原委員                   その名称でいいのかどうかはわからないのですが、面会でもない、患者さんでもない、家族でもない、いろいろな用事で病院というのは出入りがありますよね。そういう方も「ああ、名称か」といって、ちょっと入れていいかなと思ったときに。</p>
	<p>○藤井部会長               センター事業関係者みたいところですね。</p>
	<p>○篠原委員                   そうですね。</p>
	<p>○林委員                    済みません。</p>
	<p>○藤井部会長               はい。</p>

	<p>○林委員 それに関係して。素人で申しわけないのですが、例えば救急車が患者さんを乗せて、今でいうと脳血管医療センターに来るといふ。救急車の場合など、もちろんほかの病院も皆そうなのですが、名称が違っても問い合わせさせてくるということだと思ふのですが、脳血管医療センターというように、脳血管とかとはっきりしておいたほうがよいような気がするのです。そういう意味では、今おっしゃったように、結構関係者ということの中にそういった、救急車に乗っている人を何と言いましたか。救急隊員です。</p> <p>○篠原委員 ○林委員 救急隊員などのことも考えて、どういう名称がいいのかということになれば、そういう人たちもあわせてやってもらったほうがいいのかなど。そうすると、医療関係者には違いないのだろうけれども、そういった面からも非常に問い合わせやすいとか、人がいるかどうかはわかりませんが、そんなことも入れたらいいのかなど。そういう意味では、違う名称でも、今おっしゃられたような関係の名称でもいいのかなと思っています。</p> <p>○加藤センター管理部長 今いろいろな意見をいただきましたので、例えば「来院者」として1項目を立てて、面会者とか医療関係者とか。</p> <p>○藤井部会長 面会者は分けたほうがよいと思います。</p> <p>○加藤センター管理部長 面会者は分けたほうがよいですか。「面会者」は分けて、あとは「その他」で、例えば医療関係者でしたら、今言った、民間の救急車もたくさん来ていますので、そういう救急車で来た人もアンケートに答えられるようにはしておきますので、そういうことでもう一つをつくっていくのかというのはあるのかもしれないです。</p> <p>○藤井部会長 では、5番目に「面会者」、そして6番目に「来院者」として、センター以外の医療関係者とかですね。そしてもう一つ、最後に「その他」とするという形で、1つの案としていいと思います。</p> <p>○加藤センター管理部長 では、今いただいた意見で、最終的にここを調整した上で、部会長のほうに見ていただいて、アンケートを完成させていきたいと思っています。</p> <p>○藤井部会長 ほかにございますか。吉井先生、今のご意見でいいですか。</p> <p>○吉井委員 大丈夫です。</p> <p>○藤井部会長 まだいろいろなケースはあると思いますけれども、大体今の領域で記入はいけますでしょうか。自由記載もありますし、よろしいでしょうか。それでは、いろいろと今のご意見をお伺いして、最終的に事務方と調整して、部会長のほうで少しまとめてみたいと思いますので、その辺は一任していただければと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、今の資料2-1から資料2-3までの案はお認めいただいたと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、もう一度資料1に戻っていただきまして、裏面の3「有識者への意見聴取」、ここについてお尋ねいたしたいと思います。期間、方法、内容については前</p>
--	---

	<p>回の部会です承されましたので、意見聴取する有識者の候補者をここに提示させていただいております。前回の部会の中で、有識者の分野に病院経営を追加するよう意見がありましたので、それを含めて各専門分野から候補者を選定させていただいております。この有識者の方について少しご意見をお伺いしたいと思います、先ほど説明がありましたように、疾患としては3本柱として「脳卒中」、それから「神経疾患」、パーキンソン病とか、いろいろな変性疾患と言われるもの、あとは「脊椎脊髄疾患」とか、脊髄関係のようなもの。この専門分野に加えて「病院経営」ということで、全部で7人の方のお名前が挙がっております。</p> <p>これは吉井先生からいかがでしょうか。</p> <p>有識者としては大体こんなところでいいと思いますが、有識者の意見だけが通るわけではないので、あくまでも参考ということになりますので、大変だと思いますけど、もうちょっと広く、全然関係ない人を入れてもいいのかなという気もしないでもないです。</p> <p>ここにお名前が挙がった方は私もよく存じ上げている方が大部分ですが、非常に経験豊富で見識豊かな方々です。河原先生という方は私は余り存じ上げておりませんが、医療管理学分野で、もう少し別の立場からもご意見がいただけたらと思います。</p> <p>林委員、篠原委員、何かございますか。</p> <p>よろしいと思います。</p> <p>本当を言うと、我々にはよくわからない人ですけど。では、この7人の方にご意見を伺うということでもよろしゅうございますか。ありがとうございました。</p> <p>続いて、「横浜市立施設の名称例」について事務局につくっていただいた、資料3です。前回の部会の中で、市立の施設の場合、名称に「横浜市立」を入れる慣習があるかどうかという質問がありました。病院の名称について、「横浜市立」が入っているのが原則のように思います。「横浜市立」に、さらに重ねて「横浜」がついている施設もあるように思いますが、選定をする場合に参考にしていただければと思います。これに関しまして、何かご質問がございましたらお願いします。</p> <p>横浜市立施設の名称例ですが、アンケートのときにはこれはどういう形で、例えばこのアンケート用紙につけるのかどうかはわかりませんが、こういう例がありますよというような形では示さないのかどうかを教えてください。</p> <p>この前もちょっとご説明させていただきましたが、病院については「横浜市立」をつけているというのが今までの例ですので、アンケートで選ばれた名前に「横浜市立」をつけるかどうかについてこの部会の中で最終的に判断していただいて、それを答申していただければと考えてございます。それで、例えば3のところ「横浜市立」と「横浜（よこはま）」が入る施設」と書いてありますが、横浜市立よこはま動物園というのがあります</p>
○吉井委員	
○藤井部会長	
○篠原委員	
○林委員	
○藤井部会長	
○林委員	
○加藤センター管理部長	

	<p>し、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校というのがあります。正式名称はこういう形になりますが、通称的にはよこはま動物園であったり、横浜サイエンスフロンティア高等学校だったりという呼び名を使っているという形になりますので、この辺につきましては最終的に部会と調整させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>○藤井部会長 ○林委員</p> <p>よろしゅうございますか。</p> <p>そうしますと、この施設の名称例というのは別にアンケートには直接関係しないで、これは調べたというだけのことで、この委員会で最終的には結論はもちろんそうなのでしょうけれども、アンケートに答えるための資料ではないということですね。</p> <p>○加藤センター管理部長</p> <p>そうです。あくまでもここの検討資料として、第3回に向けてこういう形で「横浜市立」の名称がついているということをお伝えしようと思っつつくった資料でございます。</p> <p>○藤井部会長 ○林委員 ○藤井部会長</p> <p>よろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>それでは、次に参りたいと思います。次は「名称部会スケジュール」です。資料4をご覧ください。6月～7月に開催する第3回名称部会、これまでの間にアンケートと有識者の方々への意見聴取を実施することになっております。これは事務局のほうでよろしく願いしたいと思いますが、よろしゅうございますか。</p> <p>○加藤センター管理部長</p> <p>事務局のほうで2カ月間かけてアンケートと意見聴取をして、できるだけ早く委員の方々に事前に送れるようにすることができればと考えてございます。それで7月に経営評価委員会へ答申していただいた上で、経営評価委員会から病院事業管理者に答申していただき、部会のスケジュールですのでここには書いてございませんが、その後、9月の市会に条例案を出すことができればと考えてございますので、最終的には市会で決めていくという形になっていきます。</p> <p>○藤井部会長</p> <p>2カ月弱ぐらいのスケジュールになります。ちょっとタイトではありますが、委員の先生方、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。それでは、事務局のほうにはこのスケジュールに沿ってアンケートの実施と有識者への意見聴取を行っていただきたいと思います。6月～7月に予定されています次回の部会で、具体的な名称を検討したいと思います。事務局にはアンケートの意見聴取の結果がまとめ次第、各委員に送付していただきたいと思います。</p> <p>○加藤センター管理部長</p> <p>そういたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(2) その他</p> <p>○林委員 ○藤井部会長 ○林委員</p> <p>いいですか。 どうぞ。 「その他」の関係で、直接この委員会とは関係ないの</p>
--	--

	<p>ですが、従前、脳血管医療センターには市民委員会というのがありましたよね。地域の医師会代表とか、それぞれの組織の代表が何人か入っていろいろと何回かやった覚えがあるのです。その中では、患者さんのこととか、いろいろなことを報告されて、どうやっていい病院にしようかという話がされたように私は思っているのですが、例えば今後名称が変わっても、市民委員会みたいなものは存続させていこうというお考えなのでしょうか。</p> <p>○加藤センター管理部長 この場は名称部会ですので、この場で今のことに答えするのは難しいとは思いますが、名称部会ではなくて、私が管理部長としてお答えするのでしたら、利用者のご意見を反映する形というのは、今後名称が変わっても病院として続けていかなければいけない話ですので、どういう形で行っていくかについてはこれから検討しなければいけないことだと思いますが、当然、利用者の意見は反映させるような仕組みはつくっていかねばならないと考えてございます。</p> <p>○林委員 もう一点ですけど、外から見れば新しい名称になって、今のような医療を中心にしてやっていこうということなのだと思うのですが、極端な話をすると、今までずっとやってきた病院の方向が違ってしまふといけないということもあるのだろうと思うのです。ですから、この場は名称部会で違うのですけれども、それと関係して、病院のいろいろなことにつまましての市民の意見というもの、考え方というものを取り上げられるような委員会的なものは今までもあったのですが、その委員会はぜひ継続していただければと、地域としては思います。</p> <p>○加藤センター管理部長 お気持ちはすごくよくわかっています。先ほどからご説明しているように、当然、利用者の方、地域の方々のご意見をきちんと受け入れる仕組みというのは必要だと思っていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>○藤井部会長 今「その他」の項目が入っています。今、林委員がおっしゃったような、ここは名称部会ですけども、現在の脳血管医療センターの使命といいますか、そういったものを大切にしながら、なおかつ少し発展的に機能が拡張していくような、しかも本質がきちんと保てるような、それはまた別の場であるとは思いますが、そういった意見を言う場は必要だろうと思います。</p> <p>○原田課長 そのほか、何かご意見はございますか。もしなければ、事務局から何かございますか。</p> <p>特にお諮りすることはございませんが、事務連絡で1点、前回同様でございますが、本日の議事内容につきまして、後日議事録としてまとめさせていただいた上で、内容のご確認をお願いいたします。1カ月後をめどに公表させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>○藤井部会長 ただいま事務局から議事録の公開について説明がありましたので、委員の皆様方のご協力をお願いいたします。</p>
--	---

閉 会

○藤井部会長

ほかにないようでしたら、本日予定しておりました議事は以上でございます。これをもちまして、第2回横浜市立脳血管医療センター名称部会を閉会したいと思います。ご協力ありがとうございました。

<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>I 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケート・有識者への意見聴取について</li> <li>○脳血管医療センター新名称についてのアンケート (e アンケート・ホームページ用)</li> <li>○脳血管医療センター新名称についてのアンケート (院内設置用)</li> <li>○脳血管医療センター新名称についてのアンケート (職員用)</li> <li>○横浜市立施設の名称例</li> <li>○名称部会スケジュール</li> <li>○疾病別退院患者数の傾向 (横浜市域・脳血管医療センター比較)</li> </ul> <p>II 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1か月以内に会議録は公開し、資料とあわせ閲覧に供し、ホームページに掲載します。</li> </ul>
---------------------------	---